

令和2年2月12日

上越市長 村山 秀幸 様

新道区地域協議会
会長 秋山 茂

地域が必要とする公の施設に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、「新道区内における公の施設の老朽化と今後の整備」について審議を行い、課題と今後の対応について下記のとおりまとめましたので、提出いたします。

記

新道区には、地域住民の各種活動の場となる農業研修センター芙蓉荘（以下、「芙蓉荘」という。）や新道地区多目的研修センター（新道地区公民館を併設。以下、「多目的研修センター」という。）のほか、青少年の健全育成に寄与する富岡児童館（以下、「児童館」という。）が設置されていますが、いずれも老朽化が著しく、利用に適した環境が確保されていない懸念があります。

このことから、当協議会では、平成30年9月に「公の施設の老朽化と今後の整備」を審議テーマに設定し、市担当課からの情報収集や、施設利用団体及び新道地区の町内会長との意見交換などを通じ、地域が必要とする公の施設について審議を行ってまいりました。

審議においては、公の施設利用の実情や市の財政状況に鑑み、既存施設の維持管理の方向性を明らかにしたうえで、施設の廃止や新設等を計画的に進めるべきといった意見や、既存施設の修繕費の確保に時間を要する状況から、地域活動支援事業費補助金の不用額を公の施設修繕に活用できるよう制度の見直しを望むといった意見もありました。

当協議会といたしましては、地域における各種活動の維持・拡大や、健康増進活動の一層の推進のためには、高齢者等を始めとした地域住民が集い、利用に適した環境の中で活動できる、地域の活動拠点となる施設が必要であると考えますので、当該施設の整備についてご検討くださるようお願いいたします。

1 地域が必要とする施設の整備について

新道区では、地域住民の高齢化が進む中、芙蓉荘において地域支え合い事業（すこやかサロン）が開催されているほか、多目的研修センターを中心に各種趣味活動が行われていますが、両施設の主な活動スペースは2階にあるため、歩行が困難な高齢者等が参加しづらい状況となっています。

また、芙蓉荘は、空調機器の故障をはじめ、畳の臭い、壁紙の剥がれなど、施設設備の劣化が著しく、利用を嫌がる住民もおられます。

一方、多目的研修センターについては、駐車スペースが狭いため、広く新道区内の住民の参加を募る活動には使用できません。

このような課題を解決するためには、芙蓉荘及び多目的研修センターに代えて、両施設の機能を集約した新たな施設の整備が必要であると考えます。

また、富岡児童館も老朽化していることから、子どもの居場所を併せて整備することも、一つの方策であると考えます。

なお、施設整備を進めるに当たっては、施設利用団体や地域の意向に配慮していただくとともに、別の市有地への移設や民間施設の活用といった手法を取り入れるなど、地域住民が利用しやすい施設となるよう検討してください。

2 既存施設の維持管理について

前述の地域が必要とする施設の整備については、検討や工事等に一定の期間を要するものと考えられ、その間は、引き続き芙蓉荘や多目的研修センターにおいて各種活動が行われることとなるため、可能な範囲で利用環境を改善していくことが求められます。

施設利用団体及び町内会長との意見交換会では、出席した町内会長から、市に既存施設の修繕要望等を行った際に、予算がないことを理由に具体的な対応策が示されず、その後も修繕されない状況が続いているとの指摘がありましたので、既存施設の維持管理に当たっては、今後の施設運営の方向性や不具合解消のための具体的な対策を示すなど、地域住民の理解を得ながら丁寧に進められることを提案します。